

秋田県介護ロボット等導入推進支援事業にかかる導入効果報告

(検証期間 令和4年2月18日～3月31日)

1. 秋田県介護ロボット等導入推進支援事業費補助金について

〈事業目的〉

秋田県内の介護サービス事業所における介護ロボットやICTの導入に要する経費について助成することにより、介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化、生産性向上による職場環境の改善による人材の定着を支援することを目的とした補助金制度。

2. 当施設における介護ロボット等導入経緯

これまでも利用者の状況を把握し、危険を回避することを目的として有線の離床センサーを数台使用していたが、機器の故障・老朽化・コール接続部品との互換性の問題等により機器の設置個所が限られていたため、機器の更新時期の状況と判断し、上記秋田県介護ロボット等推進支援事業費補助金を活用し無線による介護ロボット機器（離床センサー）を導入することとした。

3. 介護ロボット等導入内容

介護ロボット等の名称	離床センサー [HaKaRu+ CARE ai]
導入品名 (台数)	親機 (1)
	子機 (8)
	超音波センサー (2)
	ふむふむセンサー (6)
	ふむふむアダプター (6)
	ペンダント (4)
導入年月日	令和4年2月18日

4. 導入効果等

1. 使用状況	・移乗時（ベッド、車いす、トイレ等への乗り移り）使用。
2. 使用頻度	・ほぼ毎日使用。
3. 導入効果	・効率化が図られた。
4. 介護従事者の負担軽減	・利用者に合わせた対応（介護）が可能となった。

減効果	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理の軽減化に繋がった。 ・対象利用者が居室内で移動したことを職員が装着するペンダントですぐに確認できるため夜勤者の精神的負担軽減に繋がっている。
5. 介護従事者の満足度割合（理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・やや満足（70%～89%） 「利用者単位でのコール発信が手元で確認できるため対応の優先順位を付けやすくなった。」 「少人数となる夜勤時、他の利用者介護中においても対象利用者からのコール発信を確認し対応することができるため安心感が持てる。」
6. 導入に関する課題等（導入機器の課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の故障、不具合が生じやすい。 設置3ヵ月後使用している親機のコール音が鳴らなくなった。（確認中） ・設置場所が制限される。 電波状況により子機の設置場所が限定されてしまう等の制限がある。

5. 他の介護施設等の参考となるべき事項

電源は室内コンセントを使用する無線通信となるので、通常のコール接続部品に左右されずに使用できることがメリット。（ただし、建物構造により電波状況が低下し通信できない場合がある。）

令和3年度介護ロボット補助事業として整備した離床センサー
『Hakaru+ CAREai (ハカルプラス ケアアイ)』



【親機】
スタッフルームなどに設置します。
1.子機（センサー使用者）の番号を表示
2.メロディ
で通知します。
設定、履歴などの管理も可能です。



【子機】
コンセントに差し込む事で使用可となります。
センサーは、
①ふむふむマット
②超音波センサー の2種類があり、
利用者の特性に合わせて子機にセットし使用します。



【子機】
居室のコンセントにセットし使用。



【①ふむふむセンサー】
マットを踏むと検知し、速やかな
対応が可能となります。



【子機】
居室のコンセントにセットし使用。



【②超音波センサー】
センサーの前を通ると検知します。機器
を気にする方や、引っ掛かりが心配な方
に使用します。
LAN ケーブルで子機と超音波センサー
を接続する事で使用可となります。



【ペンダント】
介護者が携帯します。センサーが反応する
とペンダントに通知され、通知音が鳴り、
子機の番号が表示されます。
「対応ボタン」を押す事で、通知音が止
まるので、センサーが鳴る事を気にせずケ
アに入ることができます。